

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：宗） （2組：宗） （3組：宗） （4組：宗） （5組：宗） （6組：宗）

使用教科書：（ 高等学校 現代の国語（第一学習社）715 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・	聞	書・読					
1 学 期	「生きもの」として生きる（中村桂子） 【知識及び技能】 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。（1）ウ 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。（C1）ア 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめる。	・文章構成をもとに把握させる ・自分に照らして考えを深めさせる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用			○	【知識及び技能】 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めることができる。（1）ウ 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。（C1）ア 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	○	○	○	5
	「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。（1）オ 【思考力、判断力、表現力等】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。（C1）ア 【学びに向かう力、人間性等】 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。	・主題に至る論の構造を把握させる。 ・主張に説得力を持たせるための論の展開について考えさせる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用			○	【知識及び技能】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えることができる。（1）オ 【思考力、判断力、表現力等】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えることができる。（C1）ア 【学びに向かう力、人間性等】 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。	○	○	○	4
	書き方の基礎レッスン 【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解する。（1）イ 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、接続や比喩表現の仕方を工夫する。（B1）ウ 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	・表記・表現の基本ルールを理解させる。 ・接続表現の種類や用法を理解させる。 ・比喩などの表現技法を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用			○	【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解することができる。（1）イ 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、接続や比喩表現の仕方を工夫することができる。（B1）ウ 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○	○	○	2
	定期考査						○	○	○	1
	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。（2）ア 【思考力、判断力、表現力等】 東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。（C1）ア 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・東西の対比関係に着目させる。 ・日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用			○	【知識及び技能】 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握することができる。（2）ア 【思考力、判断力、表現力等】 東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。（C1）ア 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	4
	ものとことば（鈴木孝夫） 【知識及び技能】 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。（3）ア 【思考力、判断力、表現力等】 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。（C1）イ 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明する。	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を理解させる。 ・筆者が主張する言語の性質を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用			○	【知識及び技能】 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解することができる。（3）ア 【思考力、判断力、表現力等】 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解することができる。（C1）イ 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	4

	話し方の工夫 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解する。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣いなど伝わりやすい表現方法を工夫する。(A(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使用する。	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解させる。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解させる。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解することができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣いなど伝わりやすい表現方法を工夫することができる。(A(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	論理分析【対比】「間」の感覚（高階秀爾） 【知識及び技能】 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。(1)オ 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。(C(1)イ) 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・「論理の型」（対比）を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。(1)オ 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。(C(1)イ) 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	3
	論理分析【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） 【知識及び技能】 文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。(1)ア 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。(C(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・「論理の型」（具体と抽象）を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解することができる。(1)ア 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。(C(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	3
	無彩色の色（港千尋） 【知識及び技能】 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握させる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。(C(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深める。	・マイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握することができる。(2)イ 【思考力、判断力、表現力等】 日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。(C(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深める。	○	○	○	3
	待遇表現 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解する。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手や場に応じた表現が選択できるようになる。(A(1)ウ) 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使用する。	・敬語表現を意識した言葉遣いを理解させる。 ・敬語表現が選択される視点を理解させる。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようにさせる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解することができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手や場に応じた表現が選択できるようになることができる。(A(1)ウ) 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	2
	定期考査						○	○	○	1
	「文化」としての科学（池内了） 【知識及び技能】 筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。(2)ア 【思考力、判断力、表現力等】 科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。(C(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめる。	・科学と技術の違いを対比し理解させる。 ・現状における科学と技術の関係を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解することができる。(2)ア 【思考力、判断力、表現力等】 科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶことができる。(C(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめている。	○	○	○	4
	現代の「世論操作」（林香里） 【知識及び技能】 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。(2)イ 【思考力、判断力、表現力等】 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。(B(1)ウ) 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書く。	・問題提起を理解させる。 ・メディア社会に生きる者として問題意識を持させる。 ・教材 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つことができる。(2)イ 【思考力、判断力、表現力等】 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。(B(1)ウ) 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	○	○	○	4

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：植竹）（2 組：植竹）（3 組：植竹）（4 組：植竹）（5 組：植竹）（6 組：植竹）

使用教科書：（高等学校 言語文化（第一学習社）715）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
- 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」、「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
			話・ 聞	書	読							
1 学 期	古文の学習・児のそら寝 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これからの学習に見通しをもち、我が国の言語文化に興味関心を深める。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりする。	・歴史的仮名遣いなどの読むために必要な基礎知識の定着。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用				【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。(1)ア ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。B(1)ア 【学びに向かう力、人間性等】 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりできる。		○	○	○	4	
	伊勢物語 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えさせる。 ・『伊勢物語』の「筒井筒」の段と読み比べ、解釈を深める。 ・積極的に読み比べ、『伊勢物語』『大和物語』それぞれの特色や魅力をワークシートにまとめる。	・和歌の修辞法など基礎知識の定着。 ・教科書 ・古文単語帳の使い方指導 ・大和物語との比較読み指導 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・グループワークの実施 ・発表の実施				【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。B(1)エ ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に読み比べ、『伊勢物語』『大和物語』それぞれの特色や魅力をまとめることができる。			○	○	7	
	定期考査								○	○	○	1
	羅生門（芥川龍之介） 【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを伝えるようにする。 ・読書の意義と効用を理解させる。 ・文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉える。	・近代文学や思潮を踏まえた上で、内容理解をさせる。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・グループワークの実施 ・小説教材「羅生門」				【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えをグループで共有できる。 ・自分の意見や考えを伝えるために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。			○	○	○	6
	徒然草 【知識及び技能】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事例を具体的に読み解かせる。 ・語句の量を増やし、語彙が豊かなようになるように指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことをつづえられるようにする。	・枕草子や方丈記も含めた日本三大随筆の指導 ・教科書 ・古語単語調べ ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・徒然草の教訓を理解させる。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・グループワークの実施。				【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ 【学びに向かう力、人間性等】 ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し学習課題に沿って説明できている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うことができている。		○	○	○	○	5
定期考査									○	○	○	1
夢十夜(夏目漱石) 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙が豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉えさせる。	・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・感想文の実施 ・発表の実施 ・小説教材「夢十夜」				【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ ・比喩や言い換えなどの修辞を理解している。(1)カ 【学びに向かう力、人間性等】 ・聞き手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、自身の考え方、感じ方を伝えられるようにしている。		○	○	○	○	5	
平家物語 【知識及び技能】 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げさせ、深めする。	・出典や時代背景の理解 ・和漢混交文を読み解くための基礎知識の定着。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用				【知識及び技能】 ・和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。(2)オ 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知ることができている。B(1)ア 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりできている。			○	○	○	6	
定期考査									○	○	○	1

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：4 単位
対象学年組：第2学年 1組～7組
教科担当者：（1組：渡邊）（2組：渡邊）（3組：渡邊）（4組：飯川）（5組：飯川）（6組：飯川）（7組：飯川）
使用教科書：（高等学校 標準文学国語（第一学習社）710）

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている
【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めている
【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	調律師のるみ子さん 【知識・技能】 本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・「るみ子さん」の気持ちが変化する過程を、彼女の身の上起こった出来事を通して読み取る。 ・老人が「るみ子さん」の調律に何を求めていることが伺えるかについて、自分の考えを文章にまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「るみ子さん」の身起こった出来事とその心情の変化を粘り強く読み取り、老人が「るみ子さん」の調律に求めていることについて、積極的に自分の考えをまとめて示そうとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「るみ子さん」の身起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	清兵衛と瓢箪 【知識及び技能】 ・清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 【思考力・判断力・表現力】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・文学史的な作者の紹介など、指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「清兵衛と瓢箪」	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面の移り変わりや登場人物の発言から、清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	山月記 【知識及び技能】 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 【思考力・判断力・表現力】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「山月記」	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	15
	相棒 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追ひ、題名にこめられた意味を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとしている。	○	○	○	7

	物語を創造する（物語を発現する力） 【知識及び技能】 ・文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学ぶ。 【思考力・判断力・表現力】 ・物語が人間にとって持つ意味を考え、表現に注意しながら物語を創造する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他の生徒からの批評を前向きに捉え、自分が創作した物語の特長や課題を明らかにする。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文中の例を参考にして、学習課題に沿って積極的に物語を創作しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
2 学 期	鼻 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・内供と、彼を取り巻く人々の心理や態度を読み取るだけでなく、『今昔物語集』も粘り強く読み取り、作者の工夫をまとめようとする。	・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（1）イ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。（B(1)オ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・内供の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	こころ 【思考力・判断力・表現力】 ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・文学史的な作者の紹介など、指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「こころ」	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】 ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむことができる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	○	○	○	25
	わたしが一番きれいだったとき 【知識及び技能】 ・詩というジャンルの特徴や表現の技法を理解している。 ・我が国の言語文化における本作品の位置づけや特徴について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた戦争に対する心情などを理解しようとしている。	・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	血であがなったもの 【思考力・判断力・表現力】 ・出来事の時系列や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・戦争の体験をどう意味づけるべきかを考えるために、出来事の時系列や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・戦争についての既習事項の確認 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・戦争の体験をどう意味づけるべきかを考えるために、出来事の時系列や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	鼻 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・内供と、彼を取り巻く人々の心理や態度を読み取るだけでなく、『今昔物語集』も粘り強く読み取り、作者の工夫をテーマを決めて短歌・俳句を作る	・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・内供の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	テーマを決めて短歌・俳句を作る 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにするはたらきがあることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・文体の特徴や修辞のはたらきなどを考慮して、読み手を引きつける工夫を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他の生徒からの批評を前向きに捉え、自分の短歌・俳句の特長や課題を明らかにする。	・授業態度 ・指名音読 ・生徒の発表 ・相互評価 ・内容理解 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用できる。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他の生徒が創作した短歌・俳句を、積極的に批評しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 文系論理国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：田口 ） （2 組：田口 ） （3 組：田口 ） （4 組：上田 ） （5・6 組：渡邊

使用教科書：（ 高等学校 精選論理国語（東京書籍）7702 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え

【学びに向かう力、人間性等】 言葉をもちつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	いつもそばには本があった ・読書の意義について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて、「読書」について自分の意見をまとめ、発表しようとしている。	○	○	○	4
	ミロのヴィーナス 【知技】(1)ア、イ、ウ 【思判表】読むこと(1)ア、エ ・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。 【知技】(2)ア 【思判表】読むこと(1)エ ・書かれている内容を理解し、論理的に考えることの意義を知る。	・授業態度 ・修辞法 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主】 進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深めようとしている。		○	○	4
	相手依存の自己規定 【知技】(1)ア、イ、ウ 【思判表】読むこと(1)ア、エ、キ 読むこと(2)オ ・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用	○			【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ、他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1
	科学的「発見」とは イ、ウ 【知技】(1)ア、イ、ウ 【思判表】読むこと(1)イ、カ ・題を迫体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法 ・教科書 ・ICTの活用		○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を培おうとしている。	○	○	○	4
	【論理の力】 要約する力 【知技】(1)ア、イ、ウ 【思判表】読むこと(1)イ、カ 【知技】(2)ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、エ ・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約する力を養う。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用		○	○	【知技】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主】 進んで論理的な文章の構造を理解し、学習課題に沿って、中心的主張を捉えた要約の方法を理解しようとしている。		○	○	2

2 学 期	メディアの変容 〔知技〕(1)ア, イ, ウ 〔思判表〕読むこと(1)ア, オ, キ 読むこと(2)エ ・挙げられている事例と筆者の分析の 関係に注意して読み, 人間関係の在り方 について考えを深める。 文章を読み比べるために 〔知技〕(2)ウ 〔思判表〕読むこと(1)ウ, エ, キ 読むこと(2)エ ・文章の読み比べ方を学び, 比較する 方法を理解する。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接 続の仕方について理解を深めている。 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 〔思判表〕 ・「読むこと」において, 文章の種 類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展 開などを的確に捉え, 論点を明確に しながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において, 主張を支 える根拠や結論を導く論拠を批判的 に検討し, 文章や資料の妥当性や信 頼性を吟味して内容を解釈している。 〔主〕 粘り強く筆者の論じる社会の 変化と人間関係の分析を理解し, 学 習課題に沿って人間関係を論じる二 つの文章の共通点・相違点を考察し て, 人間関係の在り方について自分 の考えを深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査					○	○	○	1
	「リスク」と「リスク社会」 〔知技〕(1)ア, イ, ウ 〔思判表〕読むこと(1)ア, カ, キ 読むこと(2)イ ・対比に注意して論の展開をつかみ, 「リスク」という概念について理解を 深める。	・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に 入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接 続の仕方について理解を深めている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において, 設定した 題材に関連する複数の文章や資料を 基に, 必要な情報を関係付けて自分 の考えを広げたり深めたりしている。 〔主〕 積極的にベックとルーマンの各 記述から中心的主張を捉えて要約し, 学習課題に沿って現代における「リ スク」について具体的に考え, 話し合 おうとしている。	○	○	○	3
	「環境」とは何か 〔知技〕(1)ア, イ, ウ 〔思判表〕読むこと(1)ア, カ, キ 読むこと(2)ウ ・「環境世界」などの概念に注意し ながら筆者の主張を理解し, 環境に ついて理解を深める。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	〔知技〕 ・言葉には, 言葉そのものを認識し たり説明したりすることを可能にし る働きがあることを理解している。 〔思判表〕 ・「読むこと」において, 設定した 題材に関連する複数の文章や資料を 基に, 必要な情報を関係付けて自分 の考えを広げたり深めたりしている。 〔主〕 粘り強く哲学的視点に立つた 「環境」に対する筆者の主張を理 解し, 今までの学習を生かして持続 可能な社会環境の実現に向けた具 体的な取り組みについて考え, 話し 合おうとしている。	○	○	○	2
	図表の読み取り方 〔知技〕(2)イ 〔思判表〕書くこと(1)ア	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			〔知技〕 ・推論の仕方について理解を深め 使っている。 ・新たな考えの構築に資する読書の 意義と効用について理解を深めて いる。 〔思判表〕 ・「書くこと」において, 実社会や 学術的な学習の基礎に関する事柄に ついて, 書き手の立場や論点などの 様々な観点から情報を収集, 整理し て, 目的や意図に応じた適切な題材 を決めている。 〔主〕 積極的に仮説を立てて検証す る方法を理解し, 学習の見通しをも って情報を収集・整理し, 分析する ことによって仮説の妥当性を判断 し, 検証の過程を文章にまとめよう としている。	○	○		12
	定期考査					○	○	○	1
	思考への扉 1 実在論vs. 唯名論 〔知技〕(1)イ 〔思判表〕読むこと(1)カ ・書かれている内容を理解し, 「『で ある』ことと『する』こと」を読み 深める。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や 接続の仕方について理解を深めて いる。 〔思判表〕 ・「読むこと」において, 文章の種 類を踏まえて, 内容や構成, 論理の 展開などを的確に捉え, 論点を明確 にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において, 文章の構 成や論理の展開, 表現の仕方につ いて, 書き手の意図との関係にお いて多面的・多角的な視点から評 価している 〔主〕 粘り強く二項対立の論理展 開や具体例と筆者の主張との関係 をつかみ, 今までの学習を生かして 「である」価値と「する」価値につ いて自分に引き寄せて考え, 現代 社会に対する認識を深めようとし ている。	○	○	○	5
	消費されるスポーツ 〔知技〕(1)ア, イ, ウ 〔思判表〕読むこと(1)ア, カ ・筆者の提示する問題を読み取 って整理し, メディアとスポーツの 関係について理解を深める。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や 接続の仕方について理解を深めて いる。 〔思判表〕 ・「読むこと」において, 人間, 社会, 自然などについて, 文章の内容や解 釈を多様な論点や異なる価値観と 結び付けて, 新たな観点から自分 の考えを深めている。 〔主〕 積極的にスポーツとメディア という社会事象の分析を通した筆 者の主張を読み取り, 学習課題に 沿ってスポーツについて具体例を 挙げながら, 自分の考えをまとめ ようとしている。	○	○	○	5
	混じり合う言葉 〔知技〕(1)ア, イ, ウ 〔思判表〕読むこと(1)ア, エ ・筆者の体験と考察の関係に着目 して読み, 言語に対する見方を広 げる。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や 接続の仕方について理解を深めて いる。 〔思判表〕 ・「読むこと」において, 文章の種 類を踏まえて, 内容や構成, 論理の 展開などを的確に捉え, 論点を明確 にしながら要旨を把握している。 〔主〕 進んで多言語文化の中で育 った筆者の体験と, 「言語の環 境世界」の考察についての関連性 を捉え, 学習課題に沿って人間の 思考や認識と言語についての見 方を広げようとしている。	○	○	○	6
	資料を活用して論述する 〔知技〕(1)エ/(2)ア, イ 〔思判表〕書くこと(1)ア, イ, オ 書くこと(2)エ ・資料を集めて論題を設定し, 意見 を整理して論述する。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	〔知技〕 ・情報を重要度や抽象度などによ って階層化して整理する方法につ いて理解を深め使っている。 〔思判表〕 ・「書くこと」において, 情報の妥 当性や信頼性を吟味しながら, 自 分の立場や論点を明確にして, 主 張を支える適切な根拠をそろえて いる。 〔主〕 粘り強くテーマに沿った資 料を収集・整理して論題を設定し, 学習の見通しをもって資料の価値 づけを行い, 自分の意見を明確に して論述しようとしている。	○	○		12

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

国語 科目 理系論理国語

教科：国語

科目：理系論理国語

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 5,6 組

教科担当者：（5,6組：宗 ）

使用教科書：（精選論理国語（東京書籍））

教科 理系論理国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 理系論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	ミロのヴィーナス 【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 【主】進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深める。	1 取り上げられている事柄や問題に注意して本文を通読し、全体の構成を捉える。 2 抽象的語句や逆説的、比喩的表現の具体的な内容をつかみ、説明する。 1 ミロのヴィーナスの復元案について述べた第二段の要旨を、二つの形式段落の関係に留意してまとめる。 2 第三段の重要な語句の意味をつかみ、内容を読み取る。 3 「論理的」文章について学習する。（論理の力を鍛えよう） 4 「論理的な文章」の構造を学ぶ重要性をつかみ、社会生活とつなげて考える。			○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握している。 【主】進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深めようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○	○	1
	科学的「発見」とは 【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【主】進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を培う。	1 「図1」と「図3」が何に見えるかを考えながら本文を通読する。 2 「事実を観察する」ということは、それほど単純ではない。」という筆者の考えを理解する。 3 「『見ることは解釈することだ。』」の意味するところを理解する。 4 「要約する力」（P146）を参考にしながら、本文の中心的な「問い」と「主張」をまとめる。		○	○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を培おうとしている。	○	○	○	9
	メディアの変容 【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・推論の仕方について理解を深め使う。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 【主】粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深める。	1 近代以前・以後の社会と人間関係の変化に注意しながら、本文を通読する。 2 近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性について、「制度的な枠組み」が強かった時代との比較に着目して読み取る。 3 複数の文章を比較検討するポイントに着目して、「文章を読み比べるために」を通読する。 2 「分人とは何か」と「メディアの変容」の文章について、「内容」「構成」「表現」の各観点から、共通点と相違点をまとめる。		○	○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握している。 【主】粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	10
定期考査							○	○	○	1

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（1 組：上田） （2 組：上田） （3 組：上田） （4 組：田口） （5・6 組：上田）
使用教科書：（高等学校 東京書籍「新編古典探究」（古探701））

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるよう
【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中
【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、
言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・	書	読					
1 学 期	伊勢物語「初冠」 【知識及び技能】 典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し、内容を正確に理解し、説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。・「男」の行動を読み取り、根拠とともに説明している 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取るとともに、自分の考えを深め、他者に説明しようとしている。	○	○	○	7
	大鏡「三船の才」 【知識及び技能】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・『大鏡』の概要や特徴について理解し、その内容を説明している。 ・本文中の助動詞や助詞の意味や用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力】 ・公任の人物像を読み取り、この催しにおける公任の心情について考察し、それに対する自分の意見や感想を持っている。 ・道長と公任の関係や、公任の事績について理解し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公任が他の船に乗った場合どうなったか考察し、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	源氏物語「光源氏の誕生」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・『源氏物語』の概要や特徴について理解し、その内容を説明している。 ・物語の冒頭の特徴とその効果について理解し、説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。・物語全体の主人公である光源氏がどのような状況の中で誕生したのか読み取り、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これまでの学習の中で『源氏物語』について言及していた作品を確認し、『源氏物語』のどのような部分が他の作品に影響しているのか考察し、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。	○	○	○	10
	源氏物語「若紫」 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・誰の視点で描かれているか、「光源氏の誕生」との視点の違いについて理解し、その内容を説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。・二首の歌に込められたそれぞれの人物の心情を読み取り、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文からイメージされた各登場人物の様子と土佐光吉の絵に描かれた像を比較して相違点を文章にまとめ、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。	○	○	○	8

	〔言語〕『徒然草』と『玉勝間』を読み比べる 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで随筆を読み比べ、学習課題に沿って作者の考え方の違いについて考察しようとしている 定期考査	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・『徒然草』『玉勝間』の概要や特徴について理解し、その内容を説明している 【思考力・判断力・表現力】 ・「花」や「月」、「恋」について、両者の考え方の違いを理解し、その内容を説明している。 ・両者の考え方の違いについての考察を通して、人間、社会、自然、言語文化などに対する自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『徒然草』と『玉勝間』を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察して文章にまとめるとともに、他者の文章を読むことを通して、自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	【知識及び技能】 ・本文中の助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力】 ・作者が懂れていた『源氏物語』を入手した経緯と『源氏物語』を読む心情的読み取り、その内容を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中の助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力】 ・末尾の表現を踏まえ、本文を書いた時点の作者は、『源氏物語』を入手したときの作者自身をどのように考えているのか考察し、それに対する自分の意見や感想を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・当時の女性たちが日記文学を作った理由について、現代における「日記」との違いを踏まえながら考察し、話し合いを通して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	10
	宇治拾遺物語「空を飛ぶ倉」 【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。・説話中の不思議な出来事について、絵巻の絵も参考にしつつ状況を把握し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵巻と本文とを関連付けて捉えることの意味について、自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。	○	○	○	10
	儒家と道家〔言語〕 【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「人間の本性」と「人間の本性が善か、悪か」について、積極的に自分の考えをまとめ、今までの学習を生かして発表しようとしている。 ・老子と陶潜が描く理想郷について、積極的に読み取って比較・検討しようとしている。 定期考査	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 『論語』と孔子について正しく理解し、これまでに学習した内容を説明することができる 【思考力・判断力・表現力】 ・『論語』における「学問・君子・政治」の関係性について正確に理解し、それをもとに自分の考えを深めるとともに、その内容を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「吾嘗終日不食…」「君子和而不同…」「道之以政…」の三つの章から、最も印象に残った章について、そのおもしろさや感じたこと、考えたことをまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	7
2	定期考査		○	○	○		○	○	○	1

学 期	枕草子「ありがたきもの」 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中の形容詞の意味や用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 ・随筆文学としての『枕草子』の特徴について理解し、説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、適切な現代語訳をしている。 ・「ありがたし」が現代のどのような言葉に置き換えることができるかを考え、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分にとっての「ありがたきもの」を挙げてその理由とともに文章にまとめ、他者に説明しようとしている。	○	○	○	10
	枕草子「中納言参り給ひて」 【知識及び技能】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・『枕草子』の章段の分類の中で、この章段がどれにあてはまるか理解し、根拠とともに説明している。 ・本文中の敬語の意味や用法、敬意の対象などの事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力】 ・登場人物どうしがそれぞれどのような間柄か、会話をもとに理解し、説明している。 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、適切な現代語訳をしている。 ・文中の発言の主体や対象、内容について理解し、根拠とともに説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作者の発言と、それを受けた隆家の発言のおもしろさはそれぞれどのような点にあるか文章にまとめ、発表などを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	10
	大和物語「姥捨」 【知識及び技能】 ・歌物語としての『大和物語』の特徴を、『伊勢物語』と比較して理解し、説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・「姥捨」の風習について理解し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各地に伝わる姥捨伝説について調べ、自分の考えを他者に説明しようとしている。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し、今までの学習を生かして人物の心情を理解し、姥捨伝説についての自らの考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
入試演習問題（説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説） 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	5	
										合計
										105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学探究

教 科： 国語 科 目： 文学探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（担当：田口 ）（担当：宗 ）

使用教科書：（ 2025共通テスト対策現代文（ラーンズ） 新版大学入学共通テスト実践演習（論理・文学編） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている

【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中でを高め、自分の思いや考えを広げたり深めている

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中でを高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	第1回 小説・（評論） 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ		○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	第2回 小説・（評論） 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ		○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	第3回 小説・（評論） 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ		○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	第4回 小説・（評論） 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ		○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	第5回 小説・（評論） 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ		○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	5

2 学 期	第6回 小説・(評論) 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○ ○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	○	1
	第7回 小説・(評論) 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○ ○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	第8回 小説・(評論) 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○ ○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	○	1
3 学 期	第9回 小説・(評論) 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○ ○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	第10回 小説・(評論) 大学入学試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入学試験国語文学領域について、 ・長さと頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○ ○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	定期考査				○	○	○	1
								合計
							60	

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科： 国語 科目： 古典演習 単位数： 単位 2

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組： 植竹） （2組： 植竹） （3組： 植竹） （4組： 植竹） （5組： 植竹） （6組： 植竹）

使用教材： （ Logical Thinking 古文 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。

科目 古典演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	4
	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	4
	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	6
	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	○	○	○	4

	【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。				【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。					
2 学 期	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	4
	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	4
	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査									1
3 学 期	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考判断表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	4
										合計
										36